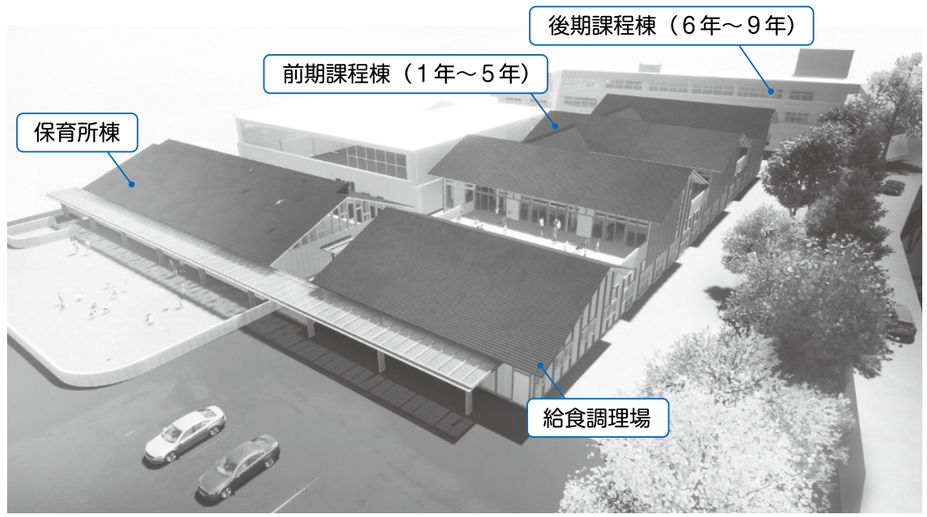
よ学舎」「おおとよ学館」「おおとよ未来学園」の４候補を選定し、教育委員会定例会で「大豊町立大豊学園」と決定しました。

大豊町立大豊学園　令和４年４月開校



主な質疑

■第497回定例会
一般会計補正予算（第５回）

▼**藤丸高徳議員**
地区集会所や公民館等のトイレ改修を要望しなくても、段階的に和式から洋式へ順次交換できないか。

改修された西寺内集会所トイレ

▼**下村賢彦総務課長**

避難所に指定している施設や消防屯所等は順次交換している。地区集会所は地元管理となっているので、改修した場合は補助金を交付することで対応している。

▼**小川智也議員**

大豊町中学校体育館のエアコン設置工事の進捗状況は。

▼**北村邦彦教育次長**

現在、設計をしている段階で12月中には設計ができる。年度内完成に向けて事業を進めている。

▼**前野由和議員**
複合経営拠点事業費補助金について、県が50％、町が25％、事業主が25％の負担割合になっているが、事業の内容によって町の負担を増やしていけないか。

事業委託されたゆとりファーム

▼**中澤亘産業建設課長**

本事業は、補助金交付要綱で負担割合が定められている。今後事業の内容によって検討していく。

▼**前野由和議員**
地域おこし協力隊の選考時には、雇用期間が過ぎても本町に住んでもらうことを条件に雇用していると説明を受けたが、定着していない状況だ。予算編成時にサポートがもっとできるよう検討してはどうか。

▼**岩﨑憲郎町長**
人口急減地域対策制度を活用して、本町に必要な取り組みができるよう検討していたが、制度上の問題が生じたため、来年度実施の結論には至らなかった。今後は他の手段も含め新体制で検討できるよう、対応について措置しておく。

▼**前野由和議員**
本町の現状に応じて、消防団の編成を見直さなければならない時期ではないか。

令和２年出初式

▼**岩﨑憲郎町長**
団員数が減少する中、工夫して頑張っていただいている現状があるので、行政から提案するのではなく、活動の在り方については団に委ねて、今後も団員の皆さんが地域に対する思いを発揮できるよう、環境を整えていくため共に考え、取り組めるよう措置する。

介護保険特別会計補正予算（第３回）

▼**前野由和議員**
本町の気象条件を考慮し、介護保険の事業所が行っている訪問介護サービス等、事業所に対し町から支援ができないか。

▼**岩﨑憲郎町長**
制度化するには、利用者の費用負担の影響を考慮し、支援策を考えていく必要がある。住民が納得できる制度を今後も検討できるよう措置する。

大豊町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

▼**藤丸高徳議員**
学校運営協議会委員はどういう人選で構成されるのか。

▼**溝渕幸声教育委員会参事**

児童生徒の保護者、地域住民、学校長、学校関係者、ＰＴＡ会長、学識経験者等で15名以内の構成としている。

▼**小川智也議員**
委員の任期は。

▼**溝渕幸声教育委員会参事**
任期は1年で、再任は妨げないとしている。

町政を問う（一般質問）

問1　**政治に参加できる機会の拡充を図れ　関心を持ってもらえる取り組みを**

答　**投票率アップに繋がる取り組みをする**

▼**前野由和議員**

先の大豊町長選挙の投票率など選挙管理委員会として状況をどう捉えているか。

町長選挙開票状況